

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	リハビリパンツ使用者が増えている。日中、布パンツ使用者は2名のみ。	「脱おむつ」に取り組む。タイミングの良いトイレ誘導を今後も取り組み、トイレでの排泄を支援する。	トイレ誘導のできる3名の方に対して布パンツ使用を試みる。1ヶ月毎に失禁状況を点検し、無理なく取り組む。	4ヶ月
2	26	計画作成者が4月より変更となり、経験不足もあり、本人の生活歴や生きがいに焦点が当てられていない。	計画作成者のスキルアップを図る。	奈良県介護支援専門員実務従事者基礎研修を受講し、実務能力の向上を図る。利用者のケアプランの見直しを順次行なっていく。	6ヶ月
3	36	職員は概ね丁寧語で話しかけているが、時折、年長者に対して馴れ馴れしい言葉で話しかけている事がある。	職員心得の周知徹底。「利用者 = お客様」であるとの意識の向上。	個々の自己評価の実施や勉強会にて自己覚知の機会を作る。	6ヶ月
4	2	地域の学校や保育園などとの相互交流を行っていない。	相互交流の機会を探る。	地域の学校や保育園に機会があれば働きかける。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。